

韓統連大阪通信紙

自主

チャジュ

311号

2017年新年号

자주

発行 在日韓国民主統一連合
(韓統連) 大阪本部

〒544-0034

大阪市生野区桃谷3-13-6

TEL06-6711-6377 FAX06-6711-6378

毎月1日発行 購読料 年間3000円

郵便振替 00940-7-314392

民族時報社 大阪支社

新年辞

キャンドルとともに 歴史を変えよう

韓統連大阪本部代表委員 金隆司(ム・ユンサ)

●キャンドル革命の完遂のために



昨年(2016年)の12月9日、朴槿恵大統領の弾劾が可決されました。予想を超えて与党の半数が弾劾賛成に回りました。常に妥協に走る優柔不断な野党に気合を入れ、朴槿恵の私設応援団の与党に大きな動揺を与えたのは言うまでもなく、毎週末の

100万のキャンドル(国民の声)でした。

100万のキャンドルは光化門広場を中心に、青瓦台(大統領府)に狙いを定めながら、時には国会へ、時にはセヌリ党本部へ、時には憲法裁判所へと国民の声(指示)を厳しく伝えてきました。

弾劾が可決されてもキャンドルは続いています。何故なら、まだ何も変わっていないからです。

朴槿恵は退陣していないし、朴槿恵政権を支えてきた構造、解放以降一貫して国を私物化し、私腹を肥やしてきたネットワーク(財閥・保守政治家・高級官僚・保守言論)は温存されたままです。彼らは反省するどころか、反撃と報復の機会を狙っています。キャンドルはそれをよく知っています。だから12月24日のクリスマスも、12月31日の大晦日も、そして今年もキャンドルは続いていくでしょう。

朴槿恵が退陣し、朴槿恵—崔順実ゲートの疑惑を徹底的に追及し、そしてすべての責任者が処罰される日まで、キャンドルは続いていくでしょう。また続いていかなければなりません。キャンドルの真価が、これからますます発揮されていくでしょう。

●キャンドルは祖国統一へ

今年の1月、アメリカはトランプ政権が誕生し

ます。アメリカの朝鮮半島政策がどう変わるのか注目されますが、アメリカはもちろん、周辺4大国(米中日ロ)は朝鮮の統一を望んでいるわけではありません。基本的に国際政治は国益を中心に動いています。

しかし、私達の国益は何でしょう。言うまでもなく朝鮮半島の平和であり、統一です。朝鮮の統一は私達の問題であって、周辺4大国の問題ではありません。

去年、朴槿恵政権は北朝鮮の核実験に抗議し、開城工団を廃止しましたが、実に愚かな判断です。

北の核問題の本質は朝米の敵対関係であり、過去、朝米間で3回の合意(94年ジュネーブ合意、99年ベルリン合意、2000年朝米共同コミュニケ)がありました。内容はすべて共通しています。朝鮮半島の非核化と朝米関係の正常化を同時に進行するという一括合意です。その合意をすべて反故にしてきたのがアメリカですが、その代償として北朝鮮の軍事的な武器の性能は、アメリカの放置レベルを超えてしまいました。北朝鮮と対話せざるを得ない状況が高まっています。

2017年は韓国の大変革の年になるでしょう。そして、その変革の流れは南北の和解と統一への流れに必ず合流していきます。

ソウルで100万の祖国統一のキャンドルを見れる日は、そんなに遠くないかもしれません。

韓統連大阪本部は、今年も自主・民主・統一の実現にむけて同胞の皆さんとともに、韓国の民主勢力と日本の良心勢力との連帯をより強め、闘っていきます。新年が皆さんにとって幸多い年になることを祈願し、新年のあいさつとします。

新年明けましておめでとうございます。

「チヤジュ(自主)」2017年新年号では、日頃から韓統連大阪本部と連帯関係にある各界の方々から、新年辞を送って頂きましたので、紹介させていただきます。

民衆政権の樹立と

東アジアの平和を確立しよう！

日韓平和連帯共同代表 山元一英

在日韓国・朝鮮の友人の皆さん、明けましておめでとうございます。激動の2017年が始まりました。



去年は、留まることを知らない安倍政権の暴走が吹き荒れ、戦争法に基づく南スーダンへの自衛隊PKO部隊の派遣、一部独占大資本を利するTPP協定の国会承認の強行、人民の貧困化をもたらす年金カット法の成立、朝鮮に対する経済制裁の強化、沖縄辺野古新基地・高江ヘリパット基地建設の暴力的強行など、反動政策が矢継ぎ早に推進されました。これに対し、日本民衆は連帯を拡げ、野党共闘を成立させ、反戦運動を中心に大衆運動を展開してきましたが、安倍政権を打倒するまでには至りませんでした。

しかし、隣国韓国では「朴槿恵・崔順美ゲート」が発覚し、朴槿恵大統領の退陣を求める100万人規模の闘いが燎原の火のごとく拡がり、1987年の民主化闘争以後最大規模の民衆決起となって、民衆主体の政権樹立が展望されています。

憲法裁判所による弾劾が成立すれば、60日以内に大統領選が行われ、野党・民衆の側の大統領選出につながる情勢となっています。朝鮮半島の平和統一の前進、米日韓核安保体制の頓挫、東アジアの恒久平和構築への展望が開かれる事が期待され、このような情勢の変化は、確実に日本の政治状況に影響を与えることが予測され、日韓民衆の国際連帯は増々重要な局面となってきました。

米大統領トランプの就任により、日米安保「タダ乗り論」と軍事負担増大、日米FTA経済協定

締結による日本市場の自由化攻勢が強まるといわれています。米国従属・親米政権を許すのか、安倍政権打倒の野党共闘の前進が図れるのか、大きな岐路の年といえます。日本の国にあって、朝鮮半島の平和統一と韓国社会の民主化に精力的に尽力されてきた貴組織が、韓国の進歩勢力と固く連帯し、さらに前進されることを祈念し、新年のご挨拶と致します。

2017年がターンオーバーの年に

日朝国交正常化の早期実現を求める

市民連帯・大阪 共同代表 加来洋八郎

「自主」読者の皆さん！
新年明けましておめでとうございます。



統合進歩党を強制解散させられるなど、幾多の弾圧があっても祖国、朝鮮半島に思いを寄せ、自主・民主・統一の旗を掲げて闘い続けている韓国進歩勢力、民衆と連帯して闘う皆さんに敬意を表します。

安倍首相は違憲の集団的自衛権行使容認の戦争法や辺野古等米軍新基地受け入れを強行し、原発再稼働・海外輸出に走っています。朴槿恵大統領は「北朝鮮封じ込め」と称するアメリカ防衛のサードミサイル配備を強引に受け入れ、さらに両首脳は従軍「慰安婦」問題を日本の謝罪や当事者抜きに進め、日韓秘密軍事情報保護協定を締結しました。国民無視、アメリカの言いなりです。

しかし長期にわたる軍需産業、グローバル企業重視のアメリカの帝国主義政策はトランプ、ヒラリー両大統領候補がTPP反対を表明せざるを得ないほど抵抗する民衆を生み、正に内憂、外患の状況です。日本や韓国を組み込み、朝鮮民主主義人民共和国の政権崩壊、中国包囲を狙うアメリカのアジアリバランス戦略は軋みを立てています。核恫喝を乗り越えた朝鮮の核武装、脅しに屈しない中国の影響力増大、小国でも自主を主張し、大国を翻弄するフィリピンのドゥテルテ大統領の言動等は、アメリカの影響力の急速な低下を象徴しています。

韓国民衆に連帯する皆さんのキャンドルデモは

朴大統領退陣、セヌリ党解散要求へと闘いを発展させ、民衆が団結して闘えば歴史を動かす偉大な力を持っていることを立証し、私たち世界の民衆を鼓舞し、国境を越えた民衆同士の国際連帯を促しています。

昨年は日韓平和連帯が誕生し、「 코리아・インターナショナル・ピースフォーラム (K I P F)」の結成を推進しています。今年こそ朝鮮半島の停戦協定を平和協定に転換し、朝鮮半島の平和統一、日朝国交正常化実現に向けて大きく前進しましょう。

2016年朝鮮半島が歴史的に変わった

女性会議大阪代表 永久 睦子

2016年、年明けに朝鮮政府が「水爆実験に成功した」と発表しました。日本のマスコミは連日これを非難し、制裁強化の世論を煽りました。

そんな中で女性会議も「朝鮮はなぜ核実験をするのか」「ピョンヤンを第2のヒロシマ・ナガサキにさせていいのか」を考える学習会を開き、「今まで聞くことがなかった話」と共闘の仲間にも共感を得ました。

「11月12日(土)には韓国で100万人規模のデモが行われる」と、その前日に韓統連大阪本部の金昌五(キム・チャンオ)副代表委員から聞きました。それがテレビで放映されたのは翌13日です。ソウルの大通りを埋め尽くす灯りを、拳をにぎりながら見入りました。その数は「30万人」から「100万人」へ。デモは4週間続き、一人の犠牲者も出すことなく朴槿恵大統領弾劾決議に至ったのです。

「チャジュ」12月号ではこれを「キャンドル革命」と呼び、「朴槿恵退陣は革命のゴールではなく、スタートにならなければならない」と記されました。

2016年、韓国の親米政権はこうして崖っぷちに追い込まれ、一方、朝鮮においては朝米関係が変わるといふ歴史的な年となりました。「停戦協定を平和協定に」と粘り強く米国に対話を求め



てきた朝鮮を、水爆実験に踏み切らせた背景を真に平和を求める者は考えなければなりません。

2016年、日本の安倍政権は、数の暴力で子どもを、女性を、高齢者を、障がい者を、そして沖縄県民や在日朝鮮人をなぎ倒して暴走し、戦争法を強行して自衛隊を海外に派兵しました。私たちはトランプを大統領にしてしまった米国民や、ヨーロッパでの極右台頭の動きと闘う人々、そして誰よりも韓国民衆と連帯して日本の政治、社会を変えなければなりません。本年もよろしくお願ひします。

2017年は、東アジアの軍事緊張を緩和するため、平和・友好の促進と朝鮮半島の自主的平和統一の実現、日朝・日韓民衆の連帯を広げよう。

おおさかユニオンネットワーク代表 垣沼 陽輔

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、安倍政権が夏の参議院選挙で過半数の議席を確保し、改憲勢力を含めれば3分の

2を占めることになりました。これを千載一遇のチャンスと捉え、憲法審査会の再開を促し11月に入って議論が始まりました。中身は憲法に「緊急事態」条項を加えようとしています。これは東日本大震災で太平洋沿岸が津波に襲われ、自治体の機能が失われた場合などを想定して、「政府」の権限で国民の基本的な人権を制限し、統制を行うことができるとしています。しかし、本質は政府が行う原発再稼働や、沖縄での辺野古米軍新基地建設に反対する市民運動やそれを支援する労組などに対し、「緊急事態」に陥ったと政府が判断した時に著しく制限を加え統制して、人権や思想信条の自由を踏みにじるのです。「緊急事態」という名称に惑わされず法制化に断固反対しましょう。

昨年11月、自衛隊南スーダンPKO派遣部隊に「駆けつけ警護」の任務が追加されました。稲田防衛大臣は、国連派遣職員などが襲われたとき



の民間人救出に限るとしてはいますが、ケニアが派遣していたP K O部隊を治安が悪化しているとして撤退させました。そんな危険な地域に自衛隊員が派遣され、戦闘に巻き込まれる事態に陥った場合に対処を間違えれば戦死することもあり得ます。私たちは、憲法9条違反のP K O派兵反対の声をあげ続けます。

朝鮮高級学校に対する高校無償化除外から7年を経ました。日本に生まれ育った在日朝鮮人の子どもたちだけを差別し、排除することは絶対に許されません。一日も早く高校無償化が実現できるよう共に取り組んでいきます。

米軍は、京都府丹後半島の経ヶ岬に配備した「Xバンドレーダー」に加え、高高度ミサイルシステム(サード)を韓国星州(ソソジュ)郡に配備する計画を進め、朝鮮半島の緊張を高めています。日米韓軍事同盟強化に反対し、東アジアの平和構築と朝鮮半島の自主的平和統一に向け、本年も韓統連の皆さまが「6. 15共同宣言実践日本地域委員会」の先頭に立ち、奮闘されることを期待します。

戦争に抗する日韓民衆連帯を発展させ アジアの平和を実現しよう！

しないさせない戦争協力

関西ネットワーク共同代表 中北龍太郎

米国では間もなく排外主義、差別主義のトランプが核のボタンを持つこととなります。日本では憲法を平然と踏みじり、戦前の侵略戦争を聖戦視し、憲法を心底嫌悪し、改憲を推し進めようとする安倍首相が権力の座に居座り続けています。この二人が日米同盟の強化を進めると、日本は身の毛もよだつグロテスクな国になることは必至です。当面、トランプ政権は軍事費の負担増と米国の戦争への参加拡大を強要し、安倍政権はこれに応え、日米軍事一体化がさらに加速する、こんなきな臭い動きを阻止しなければなりません。

昨年12月から自衛隊は南スーダンで、戦争法の最初の発動となる駆け付け警護を行うようにな



りました。南スーダンでは、政府軍と反政府軍の軍事衝突が起こり多数の死傷者が出て、そればかりかP K O部隊と政府軍の軍事衝突まで起きています。そんな軍事緊張が高まる中で駆け付け警護は、自衛隊が武力行使に踏み切り、殺し、殺されることになる危険が一杯です。安倍政権は、そんな危険を百も承知で戦争法の発動に踏み切りました。その狙いが戦争する国づくりにあることはいまでもありません。とりわけ自衛隊員が「戦死」し死体となって帰還した時、安倍政権は最大限、戦争する国づくり、憲法改悪の企みに悪用しようとするでしょう。この局面での攻防が、戦争への道をとめる試金石になるでしょう。

戦争前夜の状況下、戦争への対抗運動を巻き起こし、戦争法を廃止し、憲法改悪を許さず、新たなファシズムを断ち切りましょう！

2017年を日韓両国の戦争勢力と闘う日韓民衆連帯を発展させ、共にアジアの平和を築く元年としましょう！韓統連の本年の飛躍を心から祈ります。

2017年を迎えるにあたって 日朝日韓連帯大阪連絡会議 (ヨндеネット大阪)共同世話人 林 真樹

2016年12月9日、

朴槿恵大統領の弾劾が可決しました。

韓国労働者・民衆のキャンドルデモが、崔順実ゲートによる国政介入への怒りにとどまらず、支配階級を支えてきた政・財・官の癒着による腐敗した社会構造の打破に向かう大きなうねりとなっていく中、セヌリ党主流派・非主流派の駆け引きは破綻し、弾劾決議への圧倒的な賛成票により、セヌリ党の存在基盤そのものが崩壊したことが明白となりました。

弾劾可決後のキャンドル集会で民主労総は、民営化・労働改悪反対、サード配備反対声明を発しました。

1987年の労働者大闘争以降、韓国民主化闘争は幾多の苦難を超えて、いまや野党単独政権樹立を十分展望できるところにきています。まさに



闘い取ってきた民主主義といえます。

一方、日本では、キャンドルデモという直接行動に立ち上がった韓国労働者民衆に対し「韓国メディアに国民が過剰に振り回されている」「法秩序が欠落している」などの的外れな論評をした日本の一部マスコミは論外としても、朝鮮民主主義人民共和国への制裁と日韓米軍事同盟の強化を目論んできた安倍政権は、朴政権と交わした「慰安婦」問題における日韓合意に固執し、韓国民衆の正当な闘いを否定しています。

私たちは朝鮮半島・北東アジアの非核化をめざし、戦争をする国づくりを進める安倍政権に対する闘いを強めていかねばなりません。

また、在日コリアンをはじめ在日外国人に対する差別排外主義攻撃が日増しに強まっています。大阪市は「ヘイトスピーチに関する条例」を昨年制定しましたが、何の罰則規定もなく、在特会グループに公園や路上、会館等の使用を認めているのが現状です。

敗戦50年に際しヨンデネット大阪は、労働組合、市民団体、民族団体と連携しながら、生玉公園軍事地下壕と大阪城公園内旧陸軍第4師団司令部跡に建立される「戦跡銘板」を、加害の歴史を刻んだ「戦跡銘板」にしていくため、文言の内容を運動体内部で協議し、幾度も大阪市交渉を行いました。その経験を活かし、今年は「ヘイトスピーチに関する条例」を実効あるものにしていくため取組みを強化します。

ヨンデネット大阪は、日韓労働者・民衆連帯の取組みとともに、憲法改悪に進む安倍政権と、その補完勢力である日本維新の会、大阪維新の会を許さず、共生社会の実現に向けて、ネットワーク組織の良さを生かして引き続き運動を進めていきます。本年もよろしくおねがいします。

東アジアの平和のため、連帯して闘おう 自主・平和・民主のための 広範な国民連合・大阪

新年明けましておめでとうございます。

過ぎた1年、世界経済は一段の減速を背景に、イギリスのEU離脱、そして米国の次期大統領にトランプ氏の当選など全世界は大激動でした。

米国の衰退と中国の台頭など世界では大きな構造変化が進んでいます。しかし、力の衰えた米国が世界支配の秩序から黙って引き下がることはありません。世界各地で対立を煽り、戦争挑発などを含む危険な策動を強めて支配の維持をしようとするでしょう。中国やロシアも独自の戦略を進めています。フィリピンや朝鮮など中小国も必死で自主的に生きる道を追っています。

こうした中で安倍政権だけは、米国の戦略に沿って中国や朝鮮の脅威をあおり、時代錯誤の日米軍事同盟に突き進んでいます。普天間基地の辺野古基地建設、米軍の片棒を担ぎ海外での武力行使をめざす安保法制、破たんしたTPP承認の実現に突き進みました。アベノミクスで国民大多数の生活と営業は困窮し、貧困化が進んでいます。地方経済も疲弊の一途です。

新しい年もさらなる激動が予想されます。世界経済は需要が増えない中で成長率は大幅に鈍化、各国内でも国家間でも矛盾が激化するでしょう。特にトランプ新政権の下で、軍事や経済などさまざまな対日要求が強まることは必至です。

TPPの破たん、米軍基地の押しつけなど、安倍政権の対米従属政治の限界は明らかです。米軍基地に反対する沖縄県民の闘い、最近の選挙での地方、農民の怒り、全国知事会など保守の一部からも安倍政権への批判が強まっています。何よりアベノミクスで生活基盤を脅かされる労働者、国民各層の不満や怒りは高まっています。

「独立・自主」の政権対抗軸を鮮明にし、対米自主、国の完全な独立をめざす広範な勢力を結集し、政治を変えるために奮闘します。

米軍のアジアからの撤退を求めます。日本のかつての植民地支配と侵略戦争の責任を明確化させ、謝罪と必要な補償実現をめざします。即時無条件の日朝国交正常化をめざします。

東アジアの平和のため、連帯して闘いましょう。韓統連のいっそうの飛躍を祈念します。



韓国の朴槿恵退陣闘争に連帯して 大阪でキャンドルデモを開催 キャンドルデモ in 大阪

韓国民衆の闘いによって12月9日、国会で朴槿恵大統領の弾劾訴追案が可決される中、韓統連大阪本部主催で「朴槿恵大統領の即時退陣を求めるキャンドルデモ in 大阪」が12月10日(土)行われ、会員・在日同胞・日本人200名が参加した。



▲道行く人々に「朴槿恵退陣」を訴えるデモ隊

キャンドルデモでは出発集会を開き、金隆司(キム・ユンサ)韓統連大阪本部代表員が主催者挨拶を通じ「国会で朴槿恵大統領の弾劾が大差で可決された。この結果は大多数の国民が“朴槿恵退陣”を要求して、週末ごとにキャンドルを灯した闘いの勝利だ」と語った。そして「弾劾可決は終わりではなく、新たなスタートだ。朴槿恵が退陣するまで韓国民衆と連帯して闘っていこう」と訴えた。その後、李俊一(イ・チュニル)韓青大阪府本部委員

長が、朴槿恵大統領の弾劾可決に対する韓統連の声明を朗読して、拍手で確認した後、参加者はキャンドルデモに移った。

JR鶴橋駅前を通るキャンドルデモでは、参加者各自がキャンドルやプラカードを持ちながら「朴槿恵は即時退陣しろ!」「共犯者セヌリ党は解散しろ!」「憲法裁判所は迅速・公正な審判を行い、朴槿恵を罷免しろ!」などのスローガンを力強く叫び道行く人々に訴えた。



2016年の活動の成果を共有し、 親睦と交流を深める 韓統連大阪本部送年のつどい

「2016年韓統連大阪本部送年のつどい」が12月11日(日)、KCC会館(大阪市生野区)で開かれ、会員・地域同胞などが参加した。

つどいでは、金隆司(キム・ユンサ)韓統連大阪本部代表委員が乾杯挨拶を行った後、各テーブルごとにキムチ鍋を囲みながら、お互いの近況を語り合うなど親睦と交流を深めるとともに、高銖春(コ・スチュン)韓統連大阪本部事務次長が作成した「2016年の情勢・活動を振り返る」が上映され、昨年の韓統連大阪本部及び生野支部の活動が画像と動画で紹介され、1年間の活動の成果を全体で共有した。

その後、金昌範(キム・チャンボム)本部常任委員のノレ(歌)の披露、参加者からのスピーチが行われ、最後に姜明寿(カン・ミョンス)本部副代表委員が閉会辞を述べ、送年のつどいは終了した。

◆◆行事案内◆◆

<p>韓統連生野支部新年の集い</p> <p>日時：1月15日(日)午後5時～</p> <p>場所：韓統連生野支部 大阪市生野区勝山南4-1-13</p> <p>参加費：会員・一般1000円</p> <p>連絡先：090-4561-8414(孫まで)</p>  	<p>2017年韓統連大阪本部連帯の夕べ</p> <p>日時：2月19日(日)午後5時 受付 午後5時30分 開会</p> <p>場所：KCC会館(地下鉄今里駅下車徒歩10分)</p> <p>内容：第1部 記念講演 講師：孫亨根(ソン・ヒョングン)韓統連中央本部議長 第2部 懇親会</p> <p>参加費：3000円</p> <p>主催：韓統連大阪本部 06-6711-6377</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

編集後記

新年おめでとうございます。昨年は朴槿恵退陣を求める韓国内の闘いに連帯する行動など多忙な日々が続きました。今年もこの闘いは継続します。共に頑張りましょう。(ソン)